



## 成鶏更新・空舎延長事業について

日鶏協ニュース5月号でもお知らせしましたが、成鶏更新・空舎延長事業に参加するにあっては、特に下記の留意事項について、再度、ご確認・ご留意いただきますようお願いいたします。

また、鶏の食鳥処理場への出荷に当たっては、食鳥処理場への出荷集中による過重労働等にならないようにするとともに、輸送の過密化や食鳥処理場での保管の長時間化を避けられるよう、食鳥処理業者と十分に調整の上、関係法令等に留意しつつ、計画的かつ円滑に出荷していただきますようご協力をお願いいたします。

### <<成鶏更新・空舎延長事業の留意事項>>

#### 1. 対象期間(成鶏の出荷期間)

鶏卵の標準取引価格(日ごと)が安定基準価格(163円/kg)を下回った日の30日前から安定基準価格を上回った日の前日までとなります。

ただし、上回った日の前日までに、成鶏の処理を食鳥処理場に申し込んでいる場合は、安定基準価格を上回った日から起算して30日後までとなります。

#### 2. 奨励金交付対象成鶏

出荷期間中に食鳥処理場に出荷し、食鳥処理(食鳥検査)された成鶏です。

\*日鶏協ニュース5月号では「検査合格羽数」としておりましたが「食鳥検査」に訂正し、お詫びを申し上げます。

#### 3. 事業対象鶏舎

- (1) 対象鶏舎は、一棟の建物か又は明確な間仕切りができている建物(壁、カーテン、金網等によって明確に成鶏の飼養が区分されている建物)で、一棟の鶏舎丸ごと又は間仕切り内の成鶏全てを出荷した後、水洗等による清掃を独立して合理的に実施できることが条件です。



(2) 対象鶏舎には、全ての飼養成鶏の出荷が完了した日の翌日から、ひなの再導入を開始する日の前日までに60日以上空舎期間を設けることが条件です。その際、申請時に添付する成鶏出荷時及び空舎時の鶏舎内の写真（日付入り）を各2～3枚撮影しておくことが必要です。

(3) 対象鶏舎には、成鶏出荷後90日以内に採卵用ひなをふ化場又は育すう業者（自家育成の場合は育すう舎）から導入することが条件です。その際、再導入羽数は食鳥処理場で食鳥処理された羽数（食鳥検査）の4割以上であることが条件です。

上記（2）と同様、ひな導入時の鶏舎内の写真（日付入り）を各2～3枚撮影しておくことが必要です。

## 4. 事業参加申請書類

(1) この事業に参加するには「事業参加（兼奨励金交付）申請書」（別紙様式第6号）の提出が必要です。事業対象成鶏の出荷完了後30日以内に本協会に提出して下さい。

(2) 事業参加（兼奨励金交付）申請書に記載する奨励金交付対象成鶏1羽あたりの奨励金単価は、以下のとおりです。

- ① 10万羽以上の生産者の方      210円/羽
- ② 10万羽未満の生産者の方      270円/羽
- ③ 食鳥処理場奨励金              23円/羽

(3) 事業への参加申請にあたっては、平成30年4月23日付け日鶏30発第60号にてお送りした「平成30年度成鶏更新・空舎延長事業についてのご案内」を参考に申請書類等を作成のうえ、提出をお願いします。

## 5. 事業実施状況報告書類

この事業に参加した生産者は、取組完了後、速やかに事業実施報告書類を作成の上、本協会へ提出が必要です。

<成鶏更新・空舎延長事業に関する各様式>

<https://www.jpa.or.jp/stability/documents.html>



## I E C 京都大会開催のご案内

5月号の日鶏協ニュースでも掲載しましたが、日本で初の開催となる I E C (International Egg Commission) 会議が、平成30年9月9日(日)～13日(木)の5日間、京都市内の京都ホテルオークラで開かれることが決定しました。

I E Cは世界の鶏卵業界の中で最も権威のある組織であり、本会議では毎年、世界中の鶏卵産業に関わる著名な専門家や生産・加工・流通の著名人を講師として招きセミナー、講演会が行われます。京都大会はもちろん同時通訳付きです。

日本養鶏協会では、本会議を後援するとともに実行委員会の事務局を引き受けることとなりました。協会として招致に係る相応の費用負担も予定しています。

会場の定員は350名でこの内200名程は海外用です。日本から参加出来るのは100～150名、新規では100名程の枠しかない可能性もあります。事務局としては参加枠を増やすべく交渉しますが、主催はあくまで I E C / ロンドンであります。

参加費は、1,390イギリスポンド (GBP) /人 (日本円で約222,400円<1 GBP=160円で換算>) です。

但し、6月中に申し込みし、かつ6月中に I E C 本部宛に参加費の支払いを完了するとGBP1,240 (約198,400円) に割引となります。事務手続きの関係がありますので、**割引レートの適用を希望される会員の方は6月15日(金)までに事務局宛に申し込みをお願いします。**既に申し込みを頂いている方は当然ながら割引レートが適用されます。

私事で恐縮ですが、6年程前の I E C マドリッドに参加しましたが、ヨーロッパを中心とした鶏卵業界がどのような課題を抱え、どのようなマーケティングを考えるのかを知ることができ大変有意義なものとなりました。継続して参加したいと思いましたが旅費等を考えると高額になるので躊躇せざるを得ませんでした。

今回は京都開催なので旅費、ホテル代もヨーロッパ開催よりははるかに安くて済みます。

現在は、会員のみに参加申し込みのご案内をしていますが、今後、当会員以外の方にも案内していきますので、会員の皆様にはご検討を頂き早めの参加申し込みをお願いします。



IEC/ロンドンへの登録は事務局で代行しますのでご参加希望の方は[参加申込書](#)にて登録をお願いします。<下線部をクリックすると申込書が開きます>

なお、IEC京都大会実行委員会の委員のメンバーは、以下のとおりです。ご紹介が遅れましたことをお詫び申し上げます。

## IEC京都大会実行委員会委員

委員長 秋田善祺

副委員長 齋藤利明、都丸高志

委員 杉原 勲、赤木八寿夫、秋田正吾、坂本修三、荒木俊郎、  
中林政義（敬称略）

IEC京都大会実行委員会事務局

（日本養鶏協会内）

渡辺 誠

参加申込書：[http://www.jpa.or.jp/news/general/nikkei/2018/20180601\\_01.pdf](http://www.jpa.or.jp/news/general/nikkei/2018/20180601_01.pdf)

## 平成30年度家畜防疫互助基金推進事業に係る中央推進会議の開催概要

協会では、平成30年5月29日（水）に馬事畜産会館会議室において、家畜防疫互助基金支援事業（以下、互助事業）の円滑な実施を図るため、農林水産省、（独）農畜産業振興機構、各道府県養鶏協会等の担当者32名の参加を得て、「中央推進会議」を開催しました。

会議では、農林水産省消費・安全局動物衛生課の村瀬専門官による「鳥インフルエンザをめぐる最近の情勢について」と題した講演の後、当協会担当者より第6期（平成27～29年度）互助事業の実施状況、今年度から開始となる第7期（平成30～32年度）互助事業に係る関係通知の改正内容、互助金交付契約関係様式等について説明を行い、本事業の円滑な推進と加入促進へのご協力とご支援をお願いしました。

なお、中央推進会議については、毎年度末に開催しておりましたが、今回は第6期互助事業が平成29年度末をもって3年間の事業実施期間が終了することから、次期事業の積立金単価などの改正内容や事業の参加に必要な資料が整った段階で、開催したところです。



## 鶏卵公正取引協議会「第9回通常総会」開催のお知らせ

鶏卵公正取引協議会会員の皆様には、既にご案内しておりますが、「第9回通常総会」を下記により開催いたしますので、ご出席をお願いいたします。

なお、ご出欠を案内文書同封のハガキにて6月11日（月）までにご回報お願い申し上げます。

記

- 1 日 時 : 平成30年6月26（火）14:30～16:00
- 2 場 所 : 馬事畜産会館2階 会議室  
〒104-0033 東京都中央区新川2丁目6番16号  
T E L 03-3297-5516 （鶏卵公正取引協議会 事務局）
- 3 議 案 : 第1号議案 平成29年度事業報告、収支決算及び財産目録に関する件  
第2号議案 平成30年度事業計画及び収支予算に関する件  
第3号議案 平成30年度会費の賦課、徴収方法及び手数料に関する件  
第4号議案 役員を選任に関する件

## 平成30年度「農場HACCP」に関する研修会の開催について

（公社）中央畜産会では、農場HACCPの認証審査におけるレベルを一定以上に保持するため、農場HACCP審査員を対象とした「農場HACCP審査員養成研修会」、農場指導員を養成する「農場HACCP指導員養成研修会」及び農場指導員の方を対象とした「農場HACCP認証取得支援研修会」を開催しています。日程は次ページの通りとなります。参加ご希望の方は、（公社）中央畜産会ホームページよりお申込み下さい。



## 1. 開催日程・開催地

### 農場HACCP審査員養成研修会日程と開催地

第1回	7月31日(火)～ 8月 2日(木)	} 会場はすべて、 (公社)中央畜産会第2会議室
第2回	8月28日(火)～ 8月30日(木)	
第3回	9月25日(火)～ 9月27日(木)	
第4回	10月16日(火)～10月18日(木)	
第5回	11月13日(火)～11月15日(木)	
第6回	12月11日(火)～12月13日(木)	

### 農場HACCP指導員養成研修会日程と開催地

第1回	7月31日(火)～ 8月 2日(木)	東京都	<定員に達しました>
第2回	8月28日(火)～ 8月30日(木)	東京都	<キャンセル待ち>
第3回	9月11日(火)～ 9月13日(木)	東京都	<締切 7月13日(金)>
第4回	9月26日(水)～ 9月28日(金)	熊本県	< " " >
第5回	10月17日(水)～10月19日(金)	北海道	< " " >
第6回	11月 6日(火)～11月 8日(木)	東京都	< " " >

### 農場HACCP第1回認証取得支援研修会日程と開催地

第1回	11月22日(木)	東京都	<締切 8月10日(金)>
第2回	12月 6日(木)	東京都	< " " >

## 2. 各研修会のお申込み・お問い合わせ

(公社)中央畜産会ホームページにてお申込みください。

<https://jlia-farm-haccp.jp/instructor.html>

<上記下線部をクリックすると該当ページが開きます>

- ・お問い合わせ先は研修会ごとに異なりますので  
上記ホームページよりご確認ください。





## 米国 鶏卵サルモネラ問題 続報 米食品医薬品局(FDA)の指摘について

米食品医薬品局（FDA）は、全米2位の鶏卵生産者「ローズ・エーカー・ファーム」のノースカロライナ州の養鶏場が生産した卵に起因とするサルモネラ食中毒について、5月10日時点で35人の食中毒患者が確認され、農場などの監査でもいくつかの衛生上の問題点があったと指摘した。

FDAの発表によると、3月26日に行った農場への監査でネズミに対する防疫対策が不十分であったと指摘した。

さらに3月28日に実施した卵加工場についても衛生状態は不十分であったと指摘した。その問題点として、

- ・従業員は洗剤消毒しても洗剤を直ぐにふき取ってしまう。
- ・天井やパイプから結露が滴り、床面に水たまりが出来ていた。
- ・設備保守、衛生管理者が作業場所にバッファーを設置するが、このバッファーが明らかに汚れていた。
- ・作業者は汚れたノンフード接触面（食品に触れない部分）に触れたのちに卵の殻あるいはフード接触面（卵が触れる部分）に触っていた。
- ・フード接触面の上に汚れた物が置かれていた。
- ・コンベヤーベルト、チェーン、ガード、アーム等に食べ物の破片、汚れがたまっていた。
- ・少なくとも25匹の昆虫が飛んでいた。

等が挙げられている。





## 協会活動報告

[青字下線部クリックで、\(一社\)日本養鶏協会ホームページ内  
該当事業のページが開きます](#)

### (1) 鶏卵生産者経営安定対策事業

#### ① 価格差補填事業の事業参加者との契約数量 (トン/月当たり)

平成26年度	160,792
平成27年度	161,936
平成28年度	164,846
平成29年度	162,353

#### ② 5月の標準取引価格 157.50 円/Kg

(補てん価格 19.800 円)

平成30年度補填基準価格 185 円/Kg

平成30年度安定基準価格 163 円/Kg

### (2) 畜産物輸出特別支援事業 (鶏卵輸出部会)



## 鶏卵輸出部会第4回通常総会の開催について

鶏卵輸出部会会員の皆様には、既にご案内しておりますが、「第4回通常総会」を下記により開催いたします。

また総会後にセミナー、懇親会も予定しておりますので、ご出席をお願いいたします。

#### 記

- 日時 : 平成30年6月14日(木) 15:30~16:30  
(総会後にセミナー 16:45~17:45)
- 場所 : 馬事畜産会館 2階会議室  
〒104-0033 東京都中央区新川2丁目6番16号  
TEL 03-3297-5515
- 議案 : 第1号議案 平成29年度事業報告及び収支決算に関する件  
第2号議案 平成30年度事業計画案に関する件  
第3号議案 平成30年度収支予算案  
第4号議案 その他





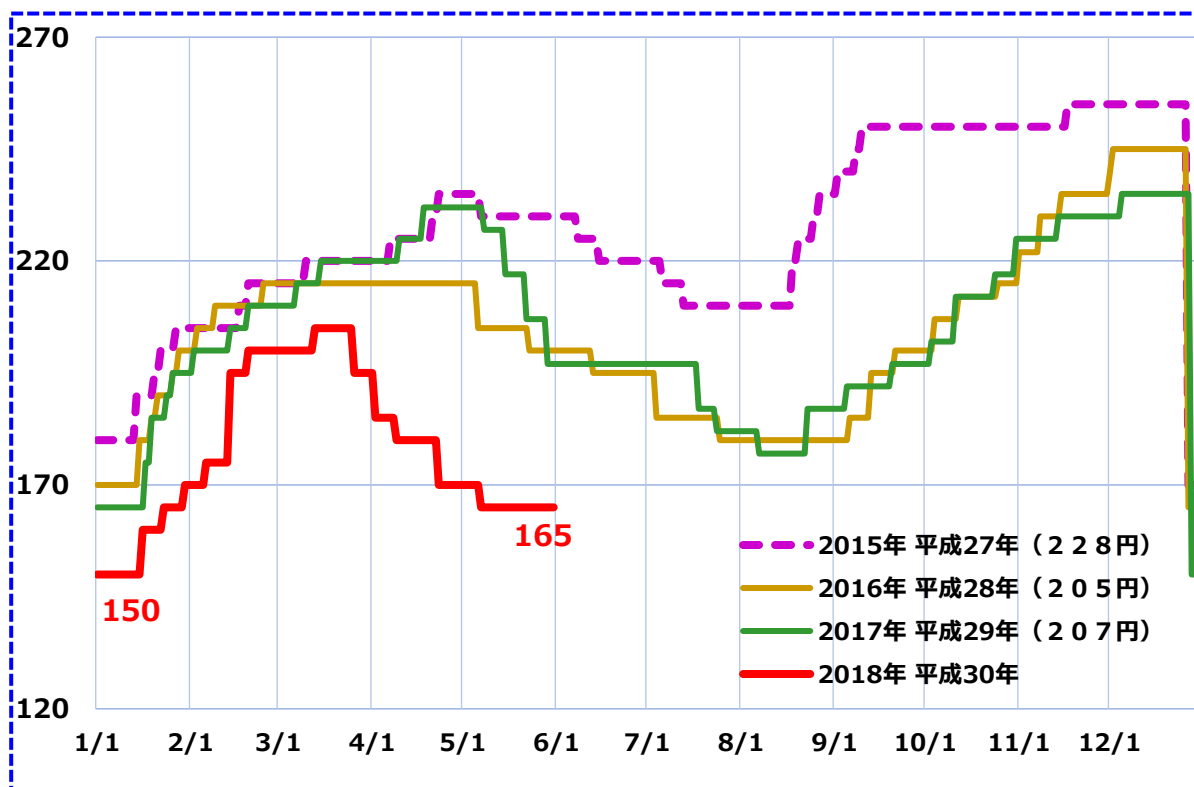
## 統計データ

### 【相場動向】過去10年間の5月相場<Mサイズ>

	平均値	高値	安値
平成21年	167	188	154
平成22年	178	198	169
平成23年	213	258	199
平成24年	168	208	154
平成25年	164	198	154
平成26年	204	238	194
平成27年	230	253	224
平成28年	204	233	194
平成29年	216	250	191
平成30年	165	188	159
平均値	191	221	179

平成30年5月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）は、平均値は5年ぶりに160円台の165円、高値は平成21年と同じ188円、安値は159円と、過去5年で一番低い相場となっています。

### 【鶏卵相場推移 2015年～2018年 事業年度 東京全農Mサイズ 円/Kg】



5月の鶏卵相場は170円からスタートしましたが、GW明けの7日には5円値を下げ165円となり、その後横ばいで推移しており、この時期平成29年度の197円と比べ32円安い相場となりました。



## 【鶏卵関係主要計数】平成30年3月までの1年間の主要計数推移

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成鶏用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比	数量(グラム)	前年比	前年	本年
29年 4月	9,112	103.8%	468	95.9%	907	102.0%	215	227
5月	9,029	96.1%	497	106.6%	890	100.1%	204	216
6月	9,759	105.8%	474	102.1%	843	97.2%	197	197
7月	9,889	104.2%	455	103.2%	866	100.2%	184	191
8月	8,339	98.4%	466	102.3%	849	104.6%	180	182
9月	9,014	98.1%	566	103.9%	858	101.3%	192	194
10月	9,225	100.9%	487	104.2%	910	100.2%	211	211
11月	9,519	107.7%	494	102.9%	899	102.8%	231	228
12月	9,081	98.6%	536	102.1%	936	103.0%	245	234
30年 1月	9,387	101.2%	477	103.9%	889	104.6%	179	159
2月	9,034	109.1%	461	102.7%	862	102.2%	204	189
3月	9,940	102.0%	522	101.7%	896	102.3%	217	201
1年間合計平均(%)	111,328	102.2%	5,903	102.6%	10,605	101.7%	205 (平均)	202 (平均)

- ・雛餌付羽数は、前年同月比2.0%増の994万羽と、年間でも前年比2.2%上回って推移しています。
- ・配合飼料出荷量は、52万トンと前年同月比を1.7%上回り、年間でも前年比2.6%上回って推移しています。
- ・鶏卵の家計消費量は、896グラムと前年同月比を2.3%上回り、年間でも前年比1.7%増と堅調に推移しています。
- ・これらの統計では、供給サイドでの大きな落ち込みも無く、家計消費などの需要も堅調な展開となっていますが、鶏卵相場は昨年11月以降、値を下げて推移しており、今後の動向を注視する必要があります。

【日鶏協ニュース】 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内（5階）

TEL：(03)3297-5515 FAX：(03)3297-5519 発行日 2018年6月1日

編集・発行責任者：小田上浩史(info@jpa.or.jp)

